

レース名	斤量	クラス	コース	距離	馬場	レース質	荒れ度	自信度
神戸新聞杯	別定	GII	阪神	芝2400m	良想定	瞬発	中荒れ	C

※文字色の意味

2018/9/23

赤…GOOD妙味大な馬 青…BAD危険な馬

紫…DARKHORSE穴馬

枠番	名前	騎手	父	父系統	母父	母父系統	血統	適性	能力	データ	ペース	総合	人気	印	結果	大駆け
1	ゴーフォザサミット	蛸名	ハーツクライ	サンデーサイレンス	ストームキャット	ストームキャット	A	A	B	C	C	B	5	△2	8	-3
2	エタリオウ	Mデムーロ	ステイゴールド	サンデーサイレンス	キャクタスリッジ	ストームキャット	B	A	A	A	C	A	3	○	2	1
3	ワグネリアン	藤岡康	ディーブインパクト	サンデーサイレンス	キングカメハメハ	キングマンボ	B	B	A	A	C	B	2	☆	1	1
4	ステイフリーッシュ	川田	ステイゴールド	サンデーサイレンス	キングカメハメハ	キングマンボ	B	C	B	B	C	B	4	▲	5	-1
5	タイムフライヤー	和田	ハーツクライ	サンデーサイレンス	ブライアンズタイム	ロベルト	B	C	C	B	D	D	8	消	6	2
6	メイショウテツコン	松山	マンハッタンカフェ	サンデーサイレンス	レモンドロップキッド	キングマンボ	B	A	A	C	A	A	6	◎	3	3
7	ビッグスモーキー	浜中	キングカメハメハ	キングマンボ	スモークグラッケン	ミスターオアシス	B	D	D	D	D	D	9	消	7	2
8	エポカドーロ	戸崎圭	オルフェヴル	サンデーサイレンス	フォーティナイター	ミスターオアシス	C	C	A	A	C	B	1	△3	4	-3
9	アドマイヤアルバ	岩田	ハーツクライ	サンデーサイレンス	バーンスタイン	ストームキャット	A	A	B	B	C	B	7	△1	9	-2
10	ハーベストムーン	幸	マンハッタンカフェ	サンデーサイレンス	キャプテンステイヴ	ダマスカス	B	D	E	D	D	D	10	消	10	0

※背景色付は特注血統保持馬(名前欄に色付きは母母が保持)

※評価はこのレース中の相対評価になります

PREVIEW																
<p>神戸新聞杯が行われる阪神芝2400mは急坂を2回越える非常にタフな舞台。この時期の3歳馬にとってもまだ過酷と言ってよいコースで、並の馬では走りきるのさききつようなタフ条件だろう。そういう舞台ということもあってレースラップだけを見るとかなりのスローペースで楽そうなレースに見えるのだが、これでも最後はきっちりとした地力が問われるのがこのコースの特徴。ダービー好走馬が毎年のように上位を独占しているのもそういったタフな条件であるという事に起因しているか。</p> <p>そんなわけで、この神戸新聞杯は純粋にこのクラシックディスタンスで強い馬を買えばいいレース。そうなると例年であれば日本ダービー上位馬を素直に買えば良いという事になるのだが、今年に関しては春のクラシックの皐月賞と日本ダービーがどちらも馬場と展開にかなり左右された結果に。実際にこの2レースのどちらでも好走したのはエポカドーロだけで、この馬にしても2レースともに展開に多分に恵まれたような印象。例年であれば皐月賞上位、日本ダービー上位といえればそれだけで能力の証明のようになるのだが、今年に関してはその基準で判断しては危うそう。ここは皐月賞や日本ダービー好走組ではなく、まだバシではないクラシックディスタンスで強い馬を買うべきレースのように思います。</p> <p>本命は世代最上位の能力を持つ◎メイショウテツコンが条件替わりで強敵撃破と見る。この馬は新馬戦の時からずっと強いと評価していた馬だが、大跳びの体力型のタイプのためになかなかキャリア序盤は適条件がなかった上にソエの影響が出てまともに能力を発揮できず。それでも今年初旬あたりからはその基礎体力を前面に押し出す競馬で活躍を見せ初めてようやく菊花賞トライアルの舞台にまでやってきた。</p> <p>血統を見ても走法を見てもどう考えても広いコースが向くタイプで、ベスト舞台は京都芝2400mか阪神芝2400m、今のスピードが求められる菊花賞なら京都芝3000mも絶好という感じの馬。ここ2戦は明らかな距離不足の舞台だったと思いますが、それでも強敵を倒していますしポテンシャルは相当高そう。</p> <p>ここは相手が強いですし、控える馬に差されそうな感じがしていますが、陣営コメントや継続騎乗の鞍上のスタイルなどを考えてもまず前々で競馬をすることは確実。エポカドーロが今回は控える競馬をするという事なので展開はこの馬に絶好に向きそうですし、本当は菊花賞で全力で狙いたい馬なのですが、ここまで条件が揃えばリアファルの時のようにトライアルから一発あって良さそうと見て本命に推します。</p>																

REVIEW																
<p>メイショウテツコンが逃げて想定通りのスローペース。そこから早めペースアップの4ハロンのロンズバ戦に。最後はきっちりとした地力が問われるようなレースになりワグネリアンとエタリオウのワンツートンとなった。そのほかにもエポカドーロなどもおりメンバーレベルはかなり高かったか。と言っても今年セントライト記念もハイレベルなメンバーが揃っていたので、神戸新聞杯組が菊花賞で優勢というわけでもないだろう。</p>																

血統		
王道血統が走るレース。中長距離系サンデーサイレンスとキングカメハメハが優勢。ハーツクライ産駒は直線の伸び方に合うので良さそう。		
適性		
スローペースになりやすい一戦だが、阪神芝2400mという急坂を2回越える舞台設定だからこそ地力勝負になりやすい。		
データ		
◎1番人気(7-2-0-1) ◎前走日本ダービー組(8-6-3-28) ◎前走日本ダービーで5着以内の馬(8-5-0-5) ×前走ダート(0-0-0-6)		
ペース		
エポカドーロが控えそうなのでメイショウテツコンの楽な単騎逃げが濃厚。前半スローペースからのロンズバ気味の上がり勝負になりそう。この舞台なら地力は問われる。		
危険な馬		
エポカドーロ=スピードを活かす競馬をすれば強い馬なので、スローペースでメイショウテツコンと楽な先行策を取ったりすればそのまま粘り込みでのワンツートンになる可能性もあるとは思いますが、今回は菊花賞を見据えて折り合い重視の競馬をしていく可能性が高いと見る。		
妙味大な馬		
メイショウテツコン=血統を見ても走法を見てもどう考えても広いコースが向くタイプ。エポカドーロが今回は控える競馬をするという事なので展開はこの馬に絶好に向きそうですし、本当は菊花賞で全力で狙いたい馬なのですが、ここまで条件が揃えば本命に推します。		
穴馬		
アドマイヤアルバ=今回はハーツクライ産駒にとって成長を促しての休み明けの秋といういかにも走りそうなタイミング。春は使い詰めだったのでフレッシュな状態の今回はいかにも狙い目という感じがしますし、ここで3着以内に走らないと菊花賞には出られない。		
タイム	上3F	下3F
2:25:06	36.7	34.6
ラップタイム		
13.0 - 11.2 - 12.5 - 12.5 - 12.7 - 12.5 - 12.5 - 12.3 - 11.8 - 11.2 - 11.3 - 12.1		

Copyright (C) 2014 - KAZ
 All Rights Reserved.
 本資料の一部または全部を、許可なく再配布することを禁じます。

